

平成28年度第6回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成28年9月27日（火） 午前10時
場 所 教育委員会 第一会議室

<教育長あいさつ>

最初に、中学生の死亡事案については、遺族との和解契約を終え、その後の手続きや訪問を予定しているところです。今後の再発防止策が重要と考えています。後で詳しく報告します。

今日は、1か月後に予定している総合教育会議に向けての議題と考えている、活力ある学校教育の在り方について、後で説明しますのでご意見をいただきたいと思います。

9月の行事を振り返ると、生涯学習について多くを学びました。市民芸術祭や、県立博物館の「寶幢寺」至宝展では、最上義光により天童の愛宕神社との関わりを知った次第です。また、パストラボ山形ワイヴァンズは正式にはこれからですが、本市を本拠地とし、ホームゲームの8割を行いたいとのこと。さらに、北海道オホーツク網走マラソン2016が開催され、副市長とともに教育委員も参加していただいたので、後でご報告をお願いいたします。

本市教育の今後の動向をお話ししますと、現在、管理職試験に向けた研修を行っています。子ども達の良きリーダーを輩出していきたい考えで、その準備をしています。また、本市教育の財産を守りたいことから、特に「特別支援教育」と「いじめ、不登校」への対応について、引き続き力を入れていきたい考えでいます。

今年度も半年が過ぎようとしていますが、佐藤委員には大変な教育状況の中で、大きな事案の中で、リーダーシップを執っていただいたことに敬意と感謝を申し上げます。

9月の会議等の報告をいたします。

資料により会議等の報告を行う。特に、北海道・東北ブロック地域婦人団体研究大会と懇親会に参加し、皆さんの活発な行動に元気をもらい感謝したところです。

9月開催の第2回市議会定例会での一般質問について、質問内容と答弁について資料を基に説明を行う。

<委員報告>

本市と姉妹都市である網走市において、今年で2回目の開催となる「北海道オホーツク網走マラソン2016」に副市長と参加してきました。ここ数十年走ったことが無い中、大会まで90日あるとのことで、腰痛に悩みながら練習してきました。完走を目標に大会に臨みましたが、周りのスピードに流されて、序盤にペースオーバーしてしまい、最後は大変でしたが、何とか完走できました。天童からは副市長も含む4人が走って、全員完走できたし、天童のPRもしっかりしてきました。以上、報告します。

< 議 事 >

議第17号 平成28年度教育委員会優秀児童生徒の褒賞「宮城浩蔵賞」について

<可決する>

審議経過 なし

教育長：議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので議事を終了します。

< 協 議 >

○活力ある学校教育の方向性について（学校教育課）

協議内容

事務局：資料を基に、本市の活力ある学校教育の方向性について事務局が考えていることについて説明。（これから改訂される学習指導要領を先取りした特色ある教育をしていきたい。小学校での英語教育については英語教育講師（ALT）の増員により、身近な言語を目指したい。英語検定の受験者数を増やす策として、受験環境の支援を図りたい。情報通信技術を活用し、タブレット端末を使った興味を引く学習指導や中学校の放課後学習会の開催等による、学力の向上を図りたい。これらの実現には、教員の指導力向上が不可欠と考え、研修等の充実を図りたい。）

委員：資料には、いわば人間育成の重要性があるが、先生方の指導の仕方が課題となるのではないかと思う。本来必要なことと思うので、今まで以上に情報収集し、指導方法の確立が重要になってくると思う。

委員：子ども達の学力アップには、先生方の指導力アップが大変重要な柱となる。その点をどのように考えているのか聞きたい。

委員：子どもを尊敬して共に学ぶ姿勢、子どもに考えさせながら先生自身のプロセスの中で進めることができるようにする点を考えると、良い方向性であると思います。

委員：新しい学習指導要領が出てきた段階で、先生方に対してどのように指導していく考えなのかお聞きしたい。

事務局：学習指導要領については、出るまでに様々な形で情報が流れてきますので、天童市ではこれらを見越して小中学校に研究委嘱をし、授業の実現を図ってもらうとともに、公開研究により発表しながら進めていくこととなります。また、県の研修会等への参加により指導力アップに繋げていきます。

教育長：資料にあるように、学習指導要領はこれまで先生方のためであったものが、子ども自身が学びの意義を自覚する手がかりとしたり、家庭・地域、民間企業において幅広く活用したりできることを目指す、というように変化してきます。大きな違いです。

表現の活用や知識を詰め込むだけではだめで、それを自分の中で消化し自分なりに構成できるようにする内容になっています。これは以前から言われてきていることですが、今回はそれを実現していこうというものです。現場ではその方向でだいぶ進んできている状況です。

委員：ICTタブレット導入の問題点を詳しくお聞かせください。

事務局：個々のタブレットに必要な教材を入れる際に、手間取っている。タブレットの通信部分について、機能の理解が不十分でいる。

委員：かしわ学習会に参加した子ども達の感想はどうでしたか。

事務局：放課後学習会へ参加して良かったという意見が多い状況です。特に3年生は、自分が選んだものに参加できるところが良い点のようです。

委員：ALTの任期はありますか。

本市のALTの評判が良いと思う。また、子ども達にとって身近に英語を話す人がいて慣れてくれば、容易に英語に溶け込んでいくと思っています。孫も英語しか話さない幼稚園に行っていますが、言葉として難しく覚えるのではなく、遊びながら楽しくいつの間にか興味を持って覚えているようです。ALTを増やすことで、体感できる機会が増えることはとても良いことだと思います。

事務局：本市の場合ALTとは1年ごとに契約しています。これまでも1年で終わることはなく2年～5年程再契約しています。

委員：英語を習得するには、自然に入ってくるような環境も大切だと思います。

教育長：ALTが増えて、学校に滞在することで、自分の学校の先生として認識し、身近に感じてもらえるのではないかと考えています。

他に皆様からありませんか。

それでは、来月に行われる天童市総合教育会議の中でも、同様の話題で協議を考えていますので、当日も活発なご意見をお願いいたします。

< 報 告 >

・天童市立中学校に通う生徒の死亡事案に関する状況について（学校教育課）

教育長：他には無いようですので、第6回教育委員会会議を終了します。